



署名した協定書を掲げる
辻学長(左)と片岡学長

学術研究、教育面で連携

県立大と
就実大・短大
包括協定を締結

県立大(総社市窪木)と(岡山市中区西川原)と就実大・就実短期大は18日、学術研究や教

育面などで連携、協力する包括協定を結んだ。

協定は、学術研究▽学生の教育▽地域、国際社会発展に向けた貢献▽互いの機器や施設の共同利用▽など7項目。互いの授業聴講、施設・設備の利用、共同研究などを想定している。

就実大は、県立大が代表となり地元岡山で活躍する人材育成を進める産学官連携組織「おかやまCOC+推進協議会」の構成メンバーで、協定を機にさらに連携を深めたい考え。

県立大で締結式があり、同大の辻英明学長と就実大・就実短期大の片岡洋行学長が協定書に署名した。辻学長と片岡学長は「それぞれの得意分野を生かして協力し、地域に貢献できる人材育成を進めたい」と話した。

県立大が国内の大学と同様の協定を結ぶのは2例目。就実大・就実短期大は初めて。(古川和宏)